

より安全な地下鉄を目指して

エスカレーターの手すりに事故防止の協力を求めるステッカーを貼り付けます

【平成 25 年 3 月までに 18 駅 73 基に実施】

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、お客様にエスカレーター等における事故防止の協力を求めることを目的として、平成25年3月までに、高低差が10m以上ある改札内のエスカレーター及び動く歩道の手すり18駅73基に、「手すりにおつかまりください」と記載したステッカーを貼り付けます。

平成24年3月に、千代田線新御茶ノ水等のエスカレーター4基において手すりにステッカーを貼り付けた結果、手すり利用率が上昇し、エスカレーターでの歩行率が減少する効果が認められたことから、導入箇所を拡大することといたしました。

今後、お客様の反響等を踏まえ、導入箇所のさらなる拡大を検討してまいります。

詳細は下記のとおりです。

記

1 対象箇所（18駅73基）

(1) エスカレーター（17駅71基）

東西線：日本橋

千代田線：新御茶ノ水

有楽町線：市ヶ谷、永田町、有楽町、月島

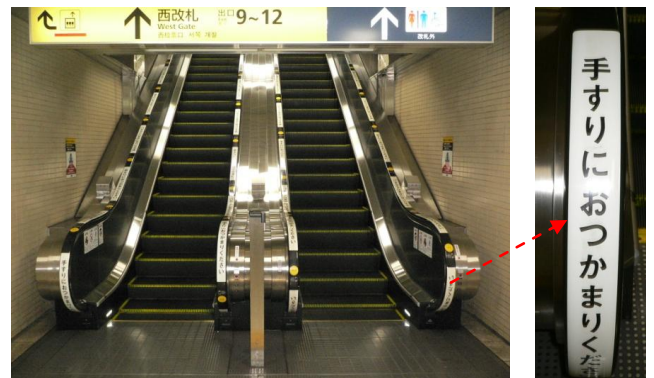
半蔵門線：永田町、大手町、三越前

南北線：白金高輪、麻布十番、四ツ谷、
後樂園、東大前

副都心線：池袋、雑司が谷、西早稲田

(2) 動く歩道（1駅2基）

半蔵門線：水天宮前



ステッカーの貼り付けイメージ

2 施工期間 平成24年11月下旬から平成25年3月下旬まで

3 試験導入の効果

千代田線新御茶ノ水駅等のエスカレーター4基での試行では、以下の効果が認められました。

(1) 手すり利用率の上昇 上り：6.8% → 8.8% 下り：8.5% → 14.7%

(2) エスカレーターでの歩行率の減少 52% → 20%

以上